

第208回日本経済予測

～ワクチン普及で世界経済は正常化するか～

大和総研 経済調査部

研究員 和田恵

本日の内容

- ◆ 10-12月期の実質GDPは
2四半期連続のプラス成長
- ◆ 人出・変異株・ワクチンで
感染状況と経済はどうなる？
- ◆ 時短協力金制度の在り方を検証

2020年10-12月期GDP（1次速報）

実質GDP	3.0	前期比%
民間最終消費支出	2.2	
民間住宅	0.1	
民間企業設備	4.5	
政府最終消費支出	2.0	
公的固定資本形成	1.3	
輸出	11.1	
輸入	4.1	
内需寄与度	2.0	前期比寄与度
外需寄与度	1.0	%pt

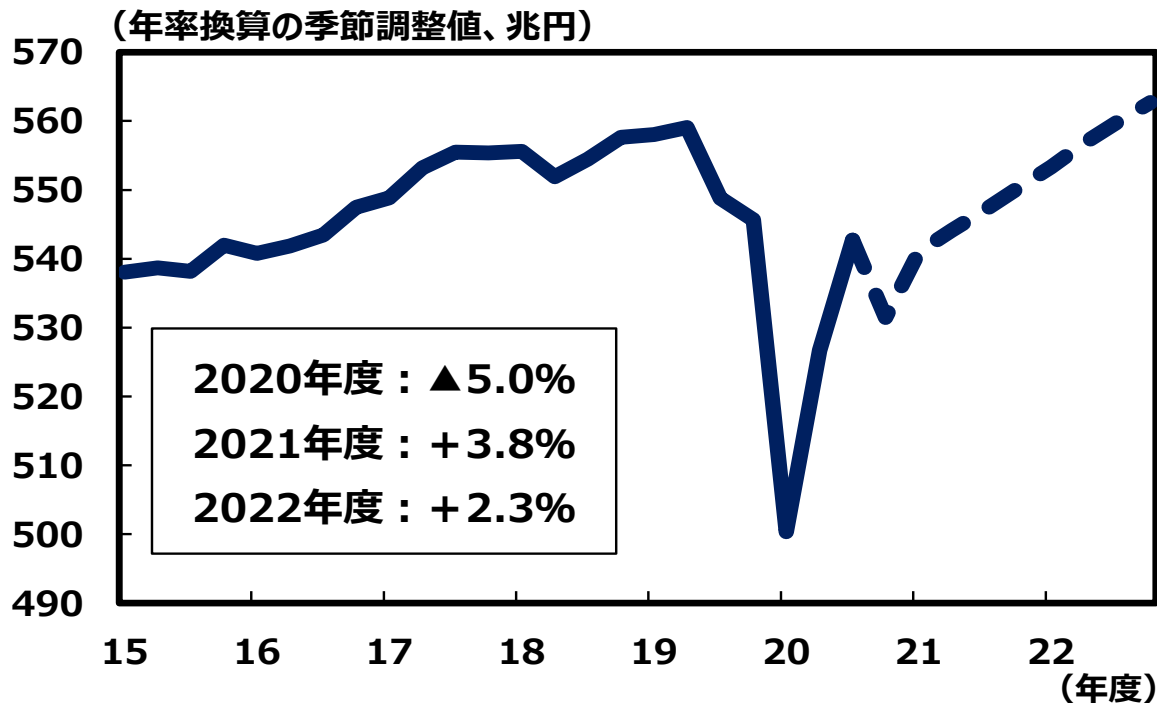
（注）全て季節調整値、かつ実質値。

（出所）内閣府統計より大和総研作成

前期比年率 + 12.7%
2四半期連続のプラス成長

**2四半期で4-6月期の落ち込みの
9割超を回復**

2022年度までの実質GDPの見通し



米欧中の実質GDP成長率

【米国】

2020年 : ▲3.5%

2021年 : +5.8%

2022年 : +4.1%

【EU圏】

2020年 : ▲6.8%

2021年 : +3.6%

2022年 : +4.0%

【中国】

2020年 : +2.3%

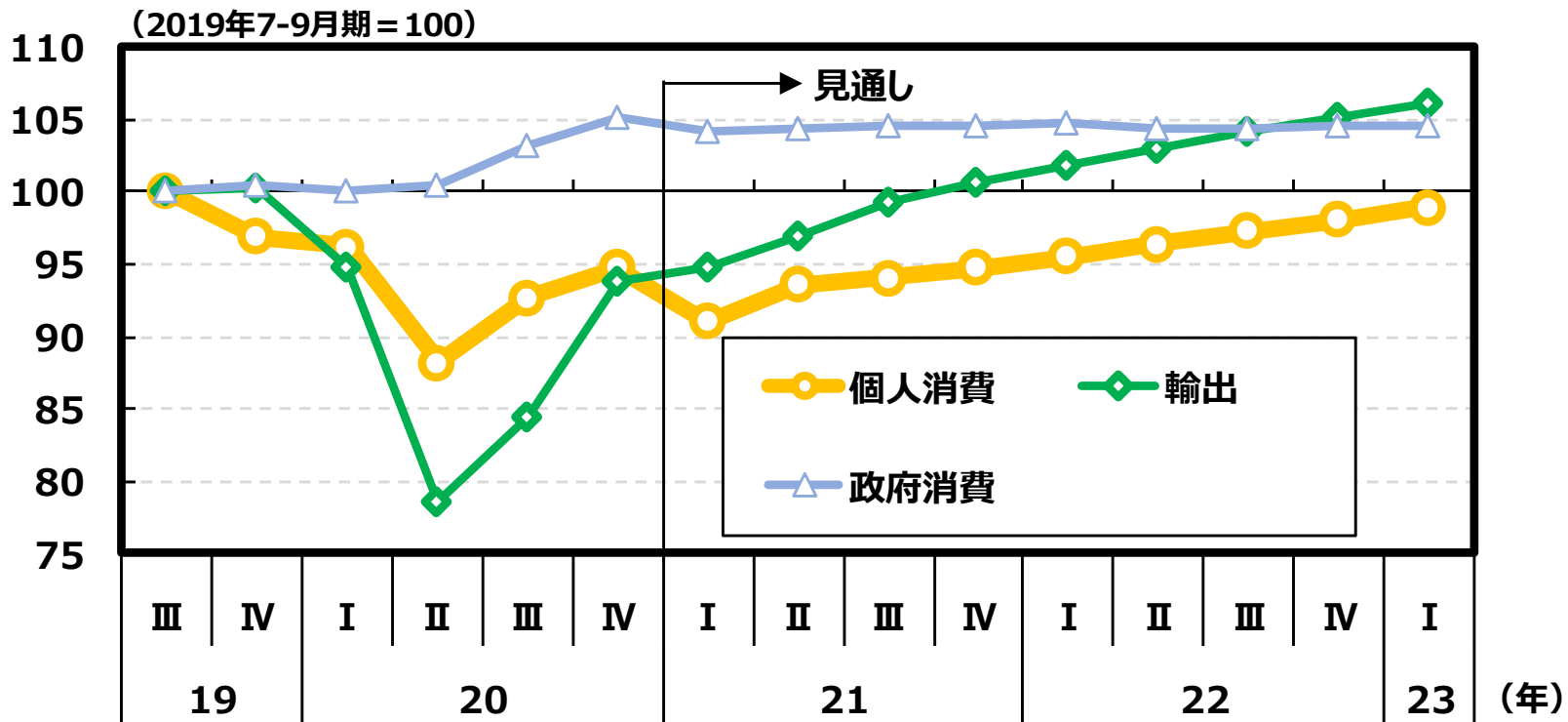
2021年 : +8.0%

2022年 : +6.0%

(注) 図中の破線は大和総研による予測値。米欧中の見通しは大和総研の各国担当者の予測に基づく。

(出所) 内閣府、各国統計より大和総研作成

2022年度までの実質GDPの見通し（内訳）

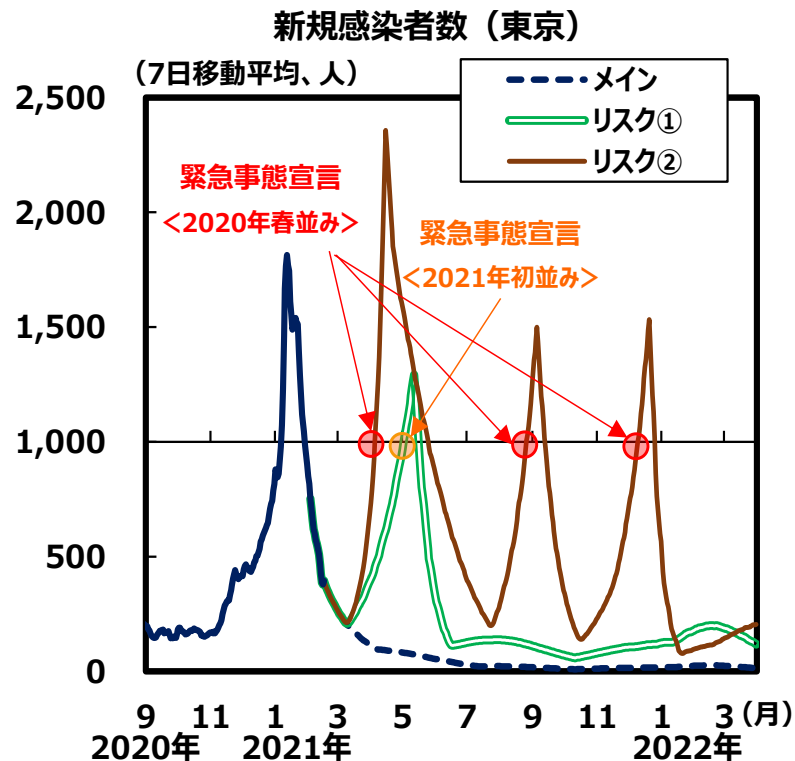


(注) 季節調整値。

(出所) 内閣府統計より大和総研作成

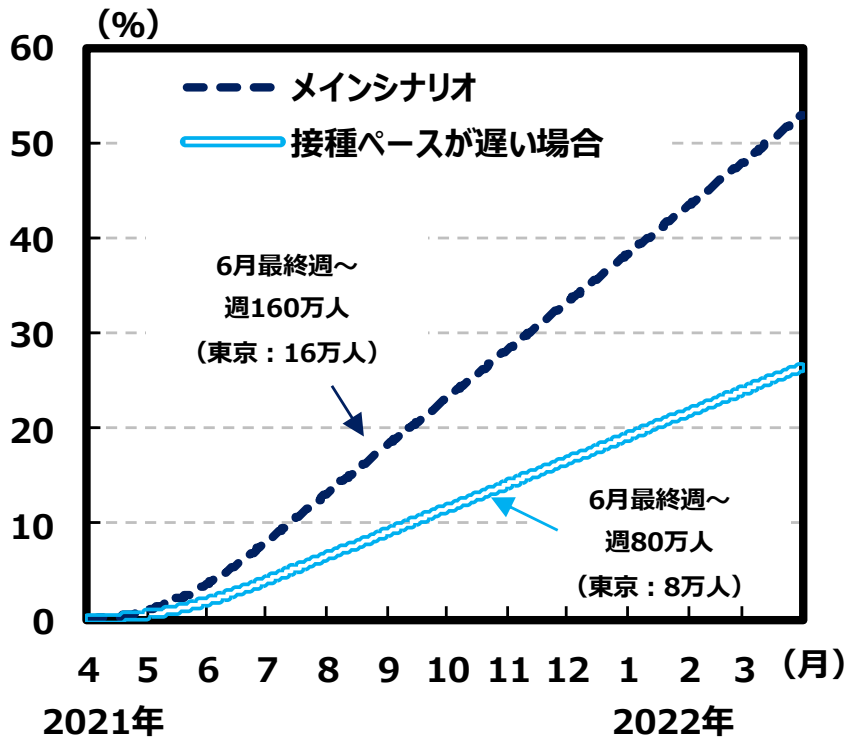
当面は感染抑制に力点を置く必要

	メインシナリオ	リスクシナリオ①	リスクシナリオ②
宣言の解除後	人出が段階的に回復	人出が急速に増加	① + 変異株の流行
新規感染者数	4.5万人	34.5万人	90.4万人
死者数	277人	2,189人	5,118人
消費額への影響 (メインからの乖離)	—	▲0.5兆円	▲24.4兆円
GDPへの影響 (前年度比)	+3.8%	+3.8%	+0.6%

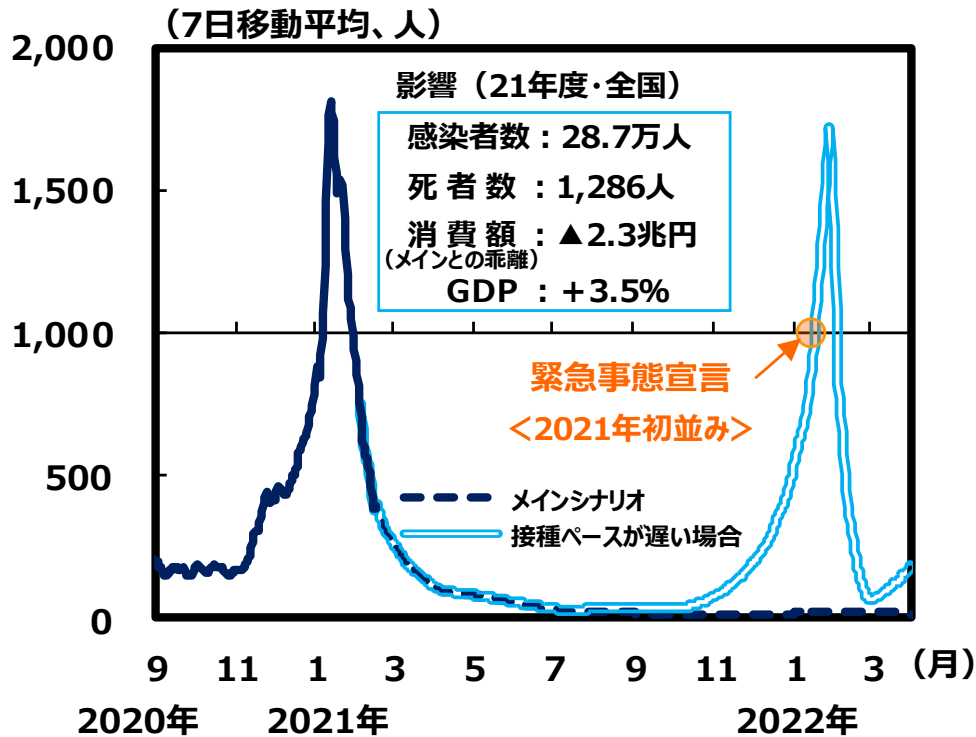


ワクチン接種のペースが想定より遅い場合の影響

ワクチン接種率



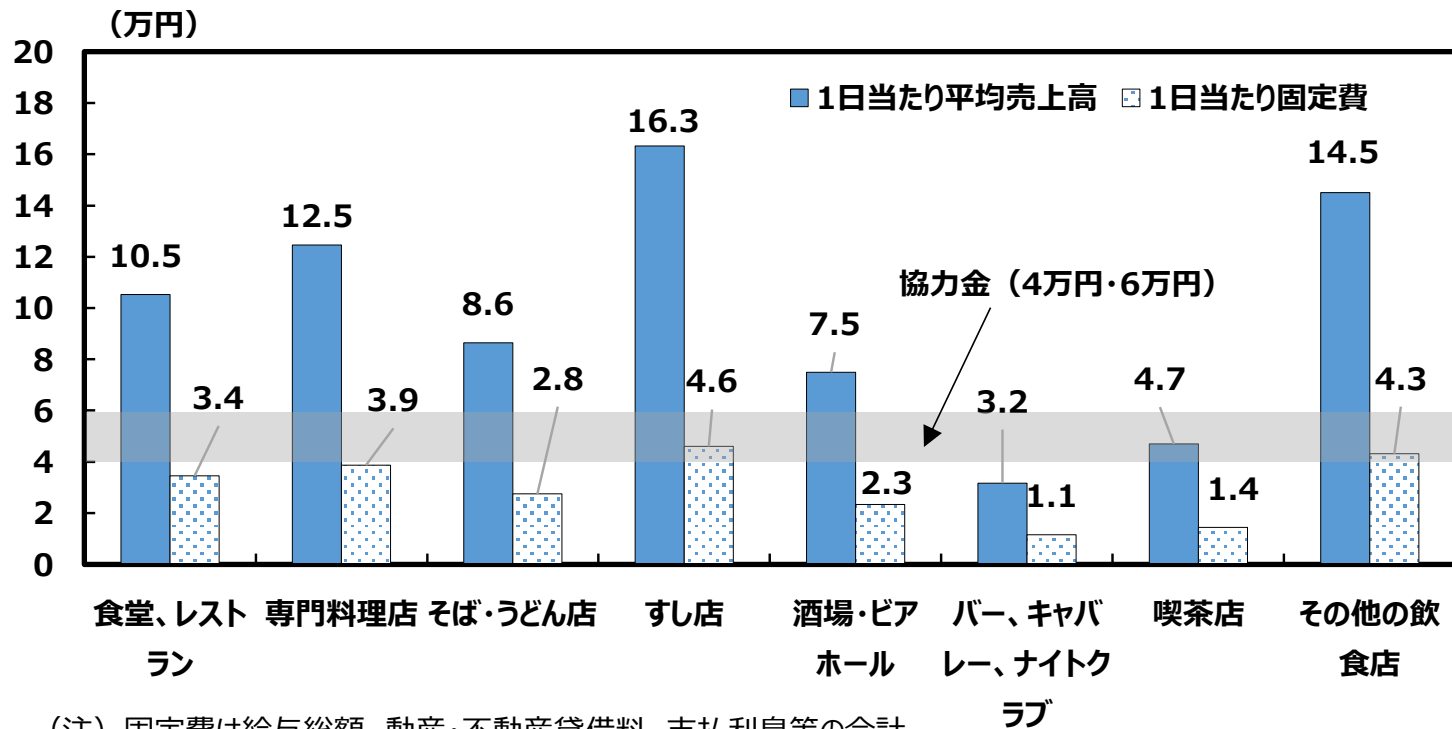
新規感染者数（東京）



(注) ワクチン接種率は、必要な回数の接種を終えた人の割合。

(出所) 厚生労働省、東京都、CEIC、Google、気象庁、日本銀行、内閣府より大和総研作成

形態ごとに異なる飲食店の売上高・固定費



(注) 固定費は給与総額、動産・不動産貸借料、支払利息等の合計。

(出所) 総務省統計より大和総研作成

本日のポイント

1. 日本経済の現状

2四半期連続の**大幅プラス成長**により、**落ち込みの9割超**を回復

2. ワクチン普及が経済回復のカギ

変異株流行で個人消費額が**24兆円減少**

ワクチン接種が遅れる場合、緊急事態宣言の再発出リスクが高まる

3. 時短協力金制度

飲食店の形態や地域など**経営実態により**経済支援の度合いに**差**